

報道関係者各位

令和 7 年 7 月 4 日

国立公文書館との連携による 「終戦―戦争の終わりと戦後の始まり―」展への収蔵資料展示について

国立公文書館で開催される令和 7 年夏の特別展「終戦―戦争の終わりと戦後の始まり―」に舞鶴引揚記念館の収蔵資料の白樺日誌と俘虜用郵便葉書等を展示することとなりました。今回の展示は国立館と地方館が連携して実施されるもので、舞鶴引揚記念館が収蔵する資料を国立公文書館で展示するのは初めてとなります。

特別展名：令和 7 年 夏の特別展「終戦 - 戦争の終わりと戦後の始まり - 」

1. 展示期間

令和 7 年 7 月 19 日（土）～ 令和 7 年 9 月 15 日（月・祝）

※土日祝日も開館 ※8 月 25 日（月）は休館

2. 場所

国立公文書館東京本館 1 階展示ホール 東京都千代田区北の丸公園 3-2
（入場無料）

3. 展示概要

戦後 80 年を迎える今年特別展として、国立公文書館が開催する同館所蔵の「終戦の詔書」をはじめとした第二次世界大戦末の公文書や戦後の女性参政権に関する公文書などの展示と連携して、舞鶴引揚記念館からは、戦後のシベリア抑留と引き揚げに関する、日系アメリカ兵が撮影したシベリアからの帰還者などを撮影した写真、白樺日誌（レプリカ）、俘虜用郵便葉書、の展示をおこないます。

舞鶴引揚記念館が国立公文書館と連携した展示は今回が初めてになります。



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：嵯峨根）

〒625-0133 舞鶴市字平 1584

TEL:0773-68-0836、FAX:0773-68-0370

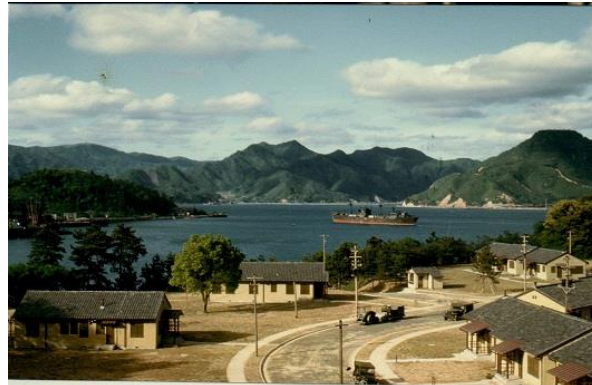
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp

4.主な展示資料

日系アメリカ兵が舞鶴に進駐した昭和22年（1947）～昭和24年に撮影した写真



引揚援護局の遠景



中舞鶴地区より舞鶴港をのぞむ



舞鶴港への入港の様子



アメリカ人の医者による健康状態の検査



上陸後、援護局へ向かっているところ



引揚船の内部



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：嵯峨根）

〒625-0133 舞鶴市字平 1584

TEL:0773-68-0836、FAX:0773-68-0370

E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp

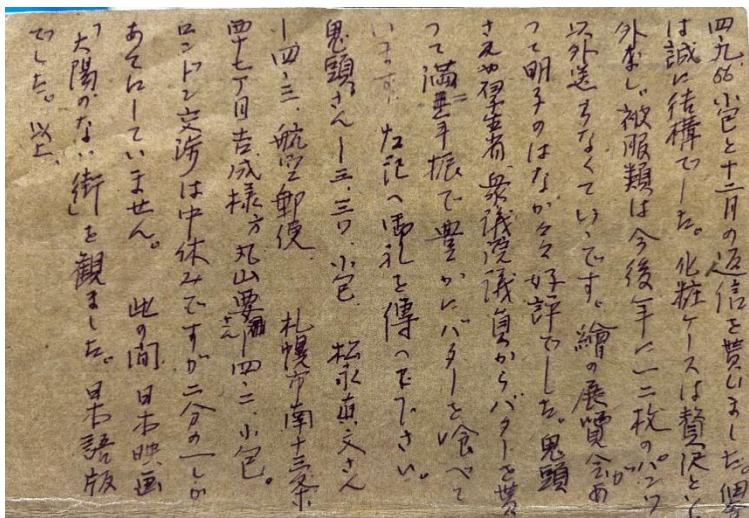
白樺日誌（ユネスコ世界記憶遺産登録資料）



白樺日誌は、紙の代用として白樺の樹皮を用い、空き缶を加工したペンですすをインクにして抑留生活を 200 首あまりの和歌でしたためた日誌で、2 年間に渡る抑留生活を記したものです。

厳しい抑留生活の中にも嬉しい出来事見出したり、日本に残した家族を思い出したりする和歌もあり、生きようとする姿を読み取ることができます。

俘虜用郵便葉書（ユネスコ世界記憶遺産登録資料）



俘虜用郵便葉書はシベリアの抑留地から祖国へ送ることができた唯一の通信手段で、往復はがきになっており、祖国からも返信をだすことができた。シベリア側では検閲があったため、厳しい労働や乏しい食料について書くことは許されませんでした。

